

阿知和が丘

校訓

ゆたかな ことば

あかるい 心

たくましい からだ

愛知県岡崎聾学校

〒444-2111 岡崎市西阿知和町字御用田 1-23

TEL 0564-45-2830 FAX 0564-45-6248 <http://www.okazaki-sd.aichi-c.ed.jp/>



「ぬくもり」を大切に

教頭 伊藤 光子

新型コロナウイルス感染症が五類感染症になって、七カ月が経ちました。ポストコロナ時代の新たな日常として、教室等の換気や手洗いは継続して行っていますが、それ以外のさまざまな制限が緩和されました。中でも、十月に行われた文化祭は、四年ぶりに観客の制限を設けずに開催することができ、その結果、在校生の家族だけでなく、同窓生（さまざまな年代の方）や、在校生の知人、地域住民の方々など、大変多くのお客様にぎわいました。また、中学部・高等部の部活動の各大会でも、多くの同窓生が会場に足を運び、私たちと一緒に応援して、大会を盛り上げてくれました。

現代は、直接人と会わなくても、SNS等で手軽にいろいろな人とつながることが出来ます。しかし、今年の文化祭や部活動の大会の様子を見て、やはり人は人と直接会うことを求めているのだとつくづく感じました。それは、直接会うことでしか感じられない「ぬくもり」を大切に思っている人が多いからではないでしょうか。私自身、文化祭や部活動の大会で久しぶりに会って話をするのができた人が多くいました。その日は、帰宅してからもその人たちのことを思い出して、胸がほっこりと温かくなりました。メールのやりとりだけで、今回のような気持ちになったことはありません。時代が変わってどれだけ便利なものが増えても、本当に大切なことは変わらないのだと思います。これからも、人との「ぬくもり」のある関わりを大切に岡崎聾学校にしていきたいでしょう。

第四十五回文化祭

生徒指導部 岩瀬 浩伸

十月二十八日（土）に第四十五回文化祭が開催されました。四年ぶりに人数制限を設けずに開催することができ、御来賓、同窓生、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々が来校され、幼児児童生徒の日頃の学習成果を御覧いただきました。練習期間では、せりふや和太鼓の音が響き、その意気込みが教室や体育館からあふれ出るような盛り上がりでした。本番に向けて日増しに完成度が高まる様子でした。当日は、前日の雨を吹き飛ばし、素晴らしい天候に恵まれました。まさに文化祭日和でした。体育館では舞台発表、校内の各会場では中・高等部の企画発表、PTA、バザー及びカレー販売、コーヒール販売、聴覚障害に役立つ機器展、同窓会企画、物品販売等が催され、多くのお客様にぎわいました。小学部児童会役員が考えた文化祭のテーマ『みんなで明るくレッツ！エンジョイ！』のように、参加された全員が一緒になって盛り上がり、楽しむことができた文化祭でした。

最後になりましたが、お越しいただきました御来賓の皆様、御協力いただいたPTAの皆様、同窓会の皆様、本当にありがとうございました。



中学部劇「11時5分だよ。全員集合！」
～フリーザーイーツの裏事情～

幼稚園

2がつきも たのしかったよ

ぶんかさい

みんないっしょに
おどったよ。



(年少 ボルジオリけん)

とっても
かっこいいよ
しゃきーン!



(年中 すずきともふみ)

おおきいやぎと
たたかっている
ところを
かきました。
「うおーうおー」を
おおきなこえで



いうのを がんばりました。

(年長 ながせ はるま)



あきのえんそく

バスに乗って岡崎東公園に行きまし
た。動物に餌をあげたり、ハムスター
を足にのせたりしました。

最後まで元気に遊んでいました。



かけあし

十一月に三週間、
運動場でかけあし
をしました。一周
一五〇メートルの
トラックを十分間
で九周走った子も
いました。



小学部

思い出いっぱいので二期

落ち葉スキー

一年一組 堀田莉瑚

十一月二十二日水よう日にえた
小学校でおちばスキーをしました。

一人のりのそりは

こわかったけれど、

二人のりのそりは、

こわくなかったです。

たのしかったです。



二ばんめにたのしかったことは、
ドッチボールです。ボールがとれて
うれしかったです。らいねんのこう
りゅうもたのしみです。

文化祭

四年二組 石田吏鷹

げきの衣しようを着て体育館の横
で待っているとき、ドキドキしました。

げきが始まったら、目の前にお客さ
んがいえないみたいなきもちになって、ど
んどん楽しくなっていました。こう
きくんとこのやりとりの場面が一番楽
しかったです。

先生から、「お客さん

が笑っていたよ」と

聞いて、「やったー!」と

思いました。

修学旅行

六年二組 北嶋 花帆

九月二十一日〜二十二日に、京都
と奈良へ修学旅行に行きました。

私が一番楽しかった

のは、映画村の「レーザ

ーミッション 脱出の城」

で遊んだことです。

最初はうまくできる

かなと思っただけれど、やっ

てみたら「な〜んだ。思ったより簡単

じゃん。」と思いました。始めに行った

「立体的いろ」はとても難しく、クリ

アでできなかったけれど、これは簡単で

よかったです。

とても楽しかったので、また映画村

に行きたいです。



中学部
有言実行「やるときはやる！」



文化祭での舞台発表、中学部企画は大成功でした！行事を通して「やるときはやる」力が育っています。

文化祭

一年一組 杉浦夢愛

舞台発表では、ナレーター役でした。せりふを全部覚えることを目標に、たくさん練習しました。本番では、大きな声で堂々と言うことができました！



中学部の企画では、おばけやしきをしました。お客さんが小さい子のときは手加減をしましたが、あまりの怖さにさけんだりあわてたりする人がいました。たくさんの人に楽しんでもらえて大成功でした。



三年二組 内田晴琉

中学部企画は人気があり、途中から大混雑で猫の手も借りたい状況でした。そんなとき、友達が自然に手伝いに来てくれました。皆で成功させようという気持ちが伝わってきました。企画を通して友達のありがたみを学びました。これからも友達と気持ち合わせ、困ったときは互いに協力できる関係を築いていきたいです。

三年二組 加藤愛華

舞台発表では、先輩から「フリーザ」役を任せられました。正直、舞台の上で目立つことが嫌でした。練習のとき、ふと友達を見ると、皆大げさな演技で盛り上げていました。私も皆の気持ちに応えようと、声の調子を変えて役になりきるなど全力で取り組みました。友達から刺激をもらい、今年最後の劇がよい舞台になりうれしかったです。

レベルアップ高等部！

文化祭

二年三組 加藤心咲

文化祭のフォトスポットのリーダーを務めました。どうすれば効率的に進められるかを考えながら指示を出しました。完璧にできたと思えば足りないところもあり大変でしたが、当日いろいろな方が写真を撮りに来てくれたので嬉しかったです。

二年二組 澤村孝介

毎年、中・高和太鼓部が文化祭の発表のトリを務めています。これまで高文連に向けた練習の一環として考えていましたが、今年はとても緊張しました。それはキャプテンとして、部全体のことを考え、指示したり見本になったりする必要があったからです。当日はたくさんの方の拍手をいただき、自信になりました。

部活動

二年二組 平形 白虎

全国聾学校陸上競技大会では、今までの練習の成果を発揮し、一五〇〇mでは、二位、五〇〇mでは、一位を取ることができ、うれしかったです。今回の結果に満足せず、今後は、大会記録の更新を目標にがんばります。応援ありがとうございました。

三年一組 井戸 梓希

最後の卓球大会で、とても緊張しましたが、楽しくプレーをすることができました。たくさんの方に期待していただき、大きなプレッシャーもある中でしたが、今まで練習してきた成果を発揮し、自分らしくプレーできました。応援ありがとうございました。

三年一組 吉田 樹里

東海地区聾学校バレーボール大会では、二連覇を果たすことはできませんでしたが、毎日練習を積み重ねてきた結果、三位を獲ることができました。私にとっては、最後まで最高の大会でした。皆さん、ありがとうございました。



寄宿舎の様子

今年度の寄宿舎では、舎生会役員が発案で、一年間のテーマを「スーパードアチワーズ」笑顔あふれる寄宿舎」に決めました。このテーマには、「笑顔で元気」「すばやく行動できる」「いいチームワーク」という思いが込められています。

舎生十名は全員が高等部で、新入舎生は一名です。テーマを決めた効果もあるのででしょうか、例年以上にお互いに協力し合い、助け合って生活する姿が見られます。例えば、まだ手話に慣れていない新入舎生に優しく手話を教えたり、実習で帰省している先輩に代わって進んで風呂やトイレの掃除に取り組んだりすることなどです。一つ屋根の下で、一緒に生活する寄宿舎の仲間という意識が育っています。

親元を離れ、寄宿舎で共同生活を送ることは、心と身体を成長させる貴重な体験にあふれていること間違いなしです。

寄宿舎の様子は、学校ホームページやブログに掲載されています。ぜひご覧ください。

センター的機能の紹介

令和五年度に本校が担うセンター的機能を大別すると①乳幼児教育相談(あひる組)における活動、②地域支援活動、③通級指導に関わる活動、④その他の教育相談となります。

①乳幼児教育相談(あひる組)における活動では、日々の集団活動や個別指導、保護者向けの講座、将来の進路選択を見据えた本校各部の授業見学会など相談者のニーズを踏まえた多岐にわたる活動をしました。

②地域支援活動では、難聴児の在籍する地域の小中学校の教員に対しての相談・助言支援を行いました。

③通級指導に関わる活動では、地域の小中学校に在籍する児童生徒や保護者、及び教員への指導・助言支援、交流プラザや研修プラザを行いました。

④その他の相談活動では、就学相談や進路・進学相談、聞こえに関する相談、聾学校での体験交流などの相談を行いました。

いずれの相談活動においても利用者からは高い評価をいただいております。センター的機能を担う役割を十分に果たしています。

輝くチャレンジの成果

☆第五九回東海地区聾学校陸上競技大会

【高等部男子】

一〇〇m 第一位 八重樫宙人

一〇〇mB 第一位 三浦真幸

二〇〇m 第一位 坂口博風

四〇〇m 第一位 坂口博風

八〇〇m 第一位 村井颯斗

一五〇〇m 第一位 平形白虎

走幅跳 第一位 澤村孝介

四×一〇〇mリレー 第一位

村井・平形・坂口・八重樫・岡田・澤村

【高等部女子】

四〇〇m 第一位 加藤心咲

走幅跳 第一位 加藤友梨

【中学部女子】

一〇〇m 第一位 ラゴマユミ

☆第六〇回記念全国聾学校陸上競技大会

【高等部男子】

八〇〇m 第二位 岡田直樹

一五〇〇m 第二位 平形白虎

五〇〇〇m 第一位 平形白虎

【高等部女子】

八〇〇m 第三位 加藤心咲

一五〇〇m 第三位 加藤心咲

走高跳 第三位 加藤友梨

☆第六四回東海地区聾学校卓球大会

【高等部男子】

団体戦 優勝 澤・平岩・田原・神谷・吉田

二部個人戦 優勝 澤寿史

【高等部女子】

団体戦 優勝 井戸・鶴田・高橋・村井

二部個人戦 優勝 井戸梓希

オープン戦 優勝 飯海柚珠

【中学部男子】

一部個人戦 優勝 内田晴琉

【中学部女子】

一部個人戦 優勝 加藤愛華

☆第六〇回記念全国聾学校卓球大会

【高等部男子】

個人 第三位 澤寿史

【高等部女子】

一部団体 第三位 井戸・鶴田・高橋・村井

☆第四八回東海地区聾学校小学部

通信陸上競技大会

【男子】

五年ソフトボール投げ 一位 高岡雄紀

六年 五〇〇m走 一位 石田悠璃

【女子】

五年 五〇〇m走 一位 八重樫希星

六年 立幅跳 二位 飯田結莉愛